

2023 年 4 月吉日

一般社団法人日本体力医学会北陸地方会 会員各位

第 35 回日本体力医学会北陸地方会大会  
大会長 芝口 翼

## 第 35 回日本体力医学会北陸地方会大会のご案内（第 2 報）

- 1) 標記大会のプログラム、ならびにプログラム・予稿集は電子ファイル（PDF）にて配信致します。大会プログラムは日本体力医学会 HP（<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/index.htm>）の本大会ページにてお知らせ致しますので、ご確認をお願い致します。  
プログラム・予稿集は、参加申込者の皆様にご登録いただいた電子メールアドレス宛に大会事務局から配信致します（配信予定日：5 月 15 日（月））。  
本大会への参加申込者および発表者の皆様は、大会プログラム（またはプログラム・予稿集：6-7 頁目）に記載した大会事務局からのお知らせをご確認ください。
- 2) 対面での学会を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染防止のため、基本的な感染予防対策の徹底と大会事務局からの留意事項に対して、何卒ご協力の程お願い申し上げます。
- 3) 参加を希望される方は、**昼食等の準備の都合上、事前の申し込みが必要です（締切：5 月 14 日（日）17 時）**。参加申し込みは、下記の URL または QR コードから「参加申込フォーム（Google フォーム）」を開き、必要事項を入力し送信してください。  
一旦「参加申込フォーム」を送信した後、参加を取り止める場合は、大会前日の**6 月 10 日（土）正午 12 時まで**に大会事務局（[shiba-t@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:shiba-t@staff.kanazawa-u.ac.jp)）へ電子メールにてご連絡願います（やむを得ず大会当日に欠席を連絡する場合も同様）。

URL： <https://forms.gle/aQadZ3pM7vunBWGD6>

QR コード：



※ 当日参加も可能とする予定ですが、昼食等の準備の都合上、できるだけ事前のお申し込みをお願い致します。当日参加の方には昼食をご用意できない可能性がございます。あらかじめご了承ください。

- 4) 本大会は、健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として講義 3.0 単位が認められます（認定番号 23633）。単位認定のための受講証明書の発行を希望される方は、大会当日にご自身の登録証を受付にてご提示ください。単位認定の条件は、**全日程（特別講演・シンポジウム・一般研究発表）**の参加とします。

照会先 第 35 回大会事務局 芝口 翼（しばぐち つばさ）  
金沢大学 国際基幹教育院 GS 教育系 運動生理学研究室  
〒920-1192 石川県金沢市角間町  
E-mail : shiba-t@staff.kanazawa-u.ac.jp Tel : 076-264-5946

第 35 回  
日本体力医学会 北陸地方会大会  
プログラム

日 時 令和 5 (2023) 年 6 月 11 日 (日)  
会 場 金沢大学角間キャンパス 総合教育講義棟 A1 講義室  
主 催 一般社団法人日本体力医学会 北陸地方会  
後 援 日本健康運動指導士会石川県支部  
日本運動健康指導士会富山県支部  
日本運動健康指導士会福井県支部

## 大会日程

9:30～ 受付開始

10:00～10:10 開会挨拶

10:10～11:30 特別講演

座長：芝口 翼（金沢大学）

骨格筋における運動効果獲得の個体差発生メカニズムを解き明かす  
エピジェネティクス理論

演者：河野 史倫（松本大学大学院健康科学研究科）

11:30～12:30 昼食休憩・懇談

12:30～13:10 北陸地方会 社員総会

13:20～14:50 シンポジウム：ライフステージと運動の意義

座長：辻本典央（福井工業大学）

S-1 幼少期の運動の必要性和大人の関わり方

演者：小川 耕平（富山福祉短期大学幼児教育学科）

S-2 足元から見直す動きづくり、健康づくり

演者：宮口 和義（石川県立大学）

S-3 福井県のPBL支援事業を利用したウォーキングに関する取り組み

演者：坂崎 貴彦（福井工業大学スポーツ健康科学部/FUT ウェルネス&スポーツサイエンスセンター）

S-4 高齢者における日常生活自立保持のための運動

演者：山次 俊介（福井大学）

15:00～16:30

一般口演（研究発表）

座長：谷田 守（金沢医科大学）

齊藤陽子（富山県立大学）

\*: 若手研究者が筆頭演者の発表

1. マウス骨格筋の運動効果獲得に果たす運動誘発性 H3K27me3 の役割

○\*清水純也<sup>1,2</sup>, 河野史倫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>松本大学大学院健康科学研究科, <sup>2</sup>日本学術振興会

2. 異なる筋種におけるミトコンドリアプロファイルの違い

○\*日光泰斗<sup>1</sup>, 小間陸嗣<sup>2,3</sup>, 芝口翼<sup>4</sup>, 野中雄大<sup>4</sup>, 山崎綾夏<sup>5</sup>, 増田和実<sup>6</sup>

<sup>1</sup>金沢大学学校教育学類, <sup>2</sup>金沢大学大学院自然科学研究科, <sup>3</sup>日本学術振興会,

<sup>4</sup>金沢大学国際基幹教育院, <sup>5</sup>金沢大学大学院新学術創成研究科,

<sup>6</sup>金沢大学人間科学系

3. 凍結筋組織から単離したミトコンドリアの呼吸機能

○\*小間陸嗣<sup>1,2</sup>, 芝口翼<sup>3</sup>, 野中雄大<sup>3</sup>, 山崎綾夏<sup>4</sup>, 増田和実<sup>1,4,5</sup>

<sup>1</sup>金沢大学大学院自然科学研究科, <sup>2</sup>日本学術振興会, <sup>3</sup>金沢大学国際基幹教育院,

<sup>4</sup>金沢大学大学院新学術創成研究科, <sup>5</sup>金沢大学人間科学系

4. 高圧高酸素処置が運動後の筋グリコーゲン回復に及ぼす影響

○\*野中雄大<sup>1</sup>, 竹田怜央<sup>2,3</sup>, 小間陸嗣<sup>1,3</sup>, 狩野遼太郎<sup>2,3</sup>, 柳下和慶<sup>4</sup>, 芝口翼<sup>1</sup>,  
増田和実<sup>1</sup>, 狩野豊<sup>2</sup>, 星野太佑<sup>2</sup>

<sup>1</sup>金沢大学, <sup>2</sup>電気通信大学, <sup>3</sup>日本学術振興会, <sup>4</sup>東京医科歯科大学

5. こまつ子どもスポーツ大学3年間の成果と課題

○\*吉田純, 川崎彰悟, 平下政美, 勝木保夫

公益財団法人北陸体力科学研究所

6. 成人女性の月経周期に伴う口腔細菌叢の変動

○\*山崎綾夏<sup>1</sup>, 向井加奈恵<sup>2</sup>, 小倉康平<sup>1</sup>, 南香奈<sup>2</sup>, 大貝和裕<sup>3</sup>, 岡本成史<sup>1,2</sup>,  
増田和実<sup>1,4</sup>

<sup>1</sup>金沢大学大学院新学術創成研究科, <sup>2</sup>金沢大学医薬保健研究域保健学系,

<sup>3</sup>金沢大学 AI センター, <sup>4</sup>金沢大学人間社会研究域

7. 運動後に増える乳酸による自律神経反射

○谷田守, 木元雄一朗, 倉田康孝  
金沢医科大学医学部生理学 II 講座

8. 足部内側縦アーチの低さが歩行中の後足部外反モーメントに与える影響

○辻本典央  
福井工業大学スポーツ健康科学部

16:30～16:50           ポスター発表（研究発表）

1. モンゴル国パラリンピック選手の体カトレーニングとコンディショニング

○橋爪和夫  
学校法人筑波学園アール医療専門職大学

2. コロナ禍の大学生における健康関連体力の変動

○齊藤陽子<sup>1</sup>, 杉林孝法<sup>2</sup>, 西村貴之<sup>3</sup>, 笠原亜希子<sup>3</sup>, 櫻井貴志<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>富山県立大学, <sup>2</sup>順天堂大学, <sup>3</sup>金沢星稜大学

3. 再トレーニング時の運動適応に対する過去の運動経験の影響

○芝口翼<sup>1</sup>, 野村祐太<sup>2</sup>, 小間陸嗣<sup>3</sup>, 野中雄大<sup>1</sup>, 山崎綾夏<sup>4</sup>, 増田和実<sup>2,3,4</sup>  
<sup>1</sup>金沢大学国際基幹教育院, <sup>2</sup>金沢大学学校教育系,  
<sup>3</sup>金沢大学大学院自然科学研究科, <sup>4</sup>金沢大学大学院新学術創成研究科

4. 大学野球選手におけるハムストリングスの肉離れの要因の検討

○安土慶<sup>1</sup>, 阿部大樹<sup>2</sup>, 奥田鉄人<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>金沢星稜大学人間科学部, <sup>2</sup>石川ミリオンスタース

16:50～17:00           表彰・閉会挨拶

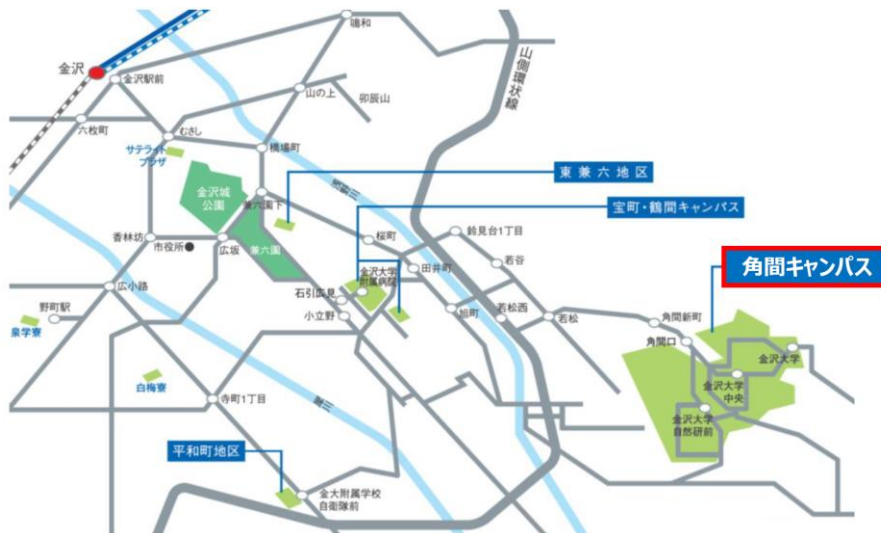
## 会場 ・ 交通案内

### 金沢大学 角間キャンパス 総合教育講義棟 A1 講義室

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学 角間キャンパス

キャンパスマップ: <https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/campus-guidance/map>

#### 【金沢駅から角間キャンパスへのアクセス】



北鉄バス「東口7番乗り場」→「93・94・97 金沢大学行き（兼六園下経由）」に乗車し、「金沢大学中央バス停」で下車

#### 【角間キャンパス内での総合教育講義棟 A1 講義室へのアクセス（図中 N4）】



バス降車後、青線に沿ってお進み下さい。車は B 駐車場をご利用ください。

## 発表者 ・ 参加者へのお知らせ

### I シンポジウム・一般口演発表について

1. 「シンポジウム」の報告時間は一人20分（3分程度の質疑応答を含む）です。最後の演題の発表終了後、10分程度の総合討論を予定しています。  
「一般口演」の持ち時間は一人10分（発表8分、質疑応答2分）です。
2. 発表用機材として PowerPoint Microsoft 365 搭載の PC（Windows 10）、液晶プロジェクター、レーザーポインターを事務局にて用意します。発表者は発表用データを USB メモリでご持参ください。また、各セッションの開始前までに発表用データを各自で会場備え付けの PC へコピーし、動作確認を行ってください。  
事務局 PC と機種・規格等が合わない場合は、発表者ご自身の PC とその付属品にて、液晶プロジェクターへの接続対応をお願い致します。
3. 発表時における PC 操作は、発表者ご自身（または共同研究者）が行ってください。

#### ※ 若手優秀研究発表賞について

本大会において、若手研究者の優れた研究発表に対し、「若手優秀研究発表賞」を授与する予定です。対象者は、一般口演に応募された「令和5年12月31日時点で39歳以下」の発表筆頭者に限ります。応募された研究課題に対して、選考委員が厳正な審査を行い、受賞対象研究を決定致します。なお、審査結果は6月11日（日）16:50からの表彰・閉会挨拶で発表致します。応募された方は必ずご出席ください。

### II ポスター発表について

1. ポスターは原則「6月11日（日）・9:30~10:00」の間に所定の場所へ掲示してください。演題番号は大会事務局が掲示致します。
2. 「ポスター発表」の発表時間は20分間です。発表者は発表時間になりましたらポスター前に待機頂き、自由討論となります。

#### ※ ポスターの作成について

- ・ ポスターサイズは「A0用紙—縦置き以内」の大ききさで作成してください。
- ・ ポスターの最上部に演題・研究発表者名・所属機関名を、その下に研究の【背景】、【目的】、【方法】、【結果】および【結論】が明確に分かるようにまとめてください。
- ・ 2~3m離れた距離からでも十分に認識できる文字サイズで作成してください。
- ・ ポスター添付用のピン等は大会事務局で準備致します。



### Ⅲ 日本体力医学会機関誌「体力科学」への抄録掲載について

1. 本大会の発表抄録は、学会誌「体力科学」への掲載原稿として使用致します。表題、著者名、所属、本文のすべてが25字×36行（900字以内）の書式に収まるように整えます。
2. 一般演題の発表者（筆頭著者）が日本体力医学会正会員ではない方で、「体力科学」への抄録掲載を希望する場合は、受付にて掲載料 3,000 円を納付願います。「体力科学」への抄録掲載は、日本体力医学会正会員である発表者（筆頭著者）および大会事務局が招聘した講演者・発表者が対象となります。  
なお、「体力科学」への発表抄録の掲載を『若手優秀研究発表賞』の選考要件の一つとします。
3. 本大会の抄録に修正が必要な場合は、事務局へご連絡ください。修正原稿の提出が遅延した場合には、「体力科学」への抄録掲載ができなくなります。

### Ⅳ 参加申込み、参加費の納付、参加証明書の発行について

1. 大会への参加には昼食等の準備の都合上、事前の申し込みが必要です。下記 URL、または QR コードよりお申し込みください。（申込締切：5月14日17時）

<https://forms.gle/aQadZ3pM7vunBWGD6>



2. 参加申し込み後に参加を取りやめる場合は、大会前日の6月10日（土）正午12時までに大会事務局（shiba-t@staff.kanazawa-u.ac.jp）へ電子メールにてご連絡願います（やむを得ず大会当日に欠席を連絡する場合も同様）。
  3. 参加者は大会当日、受付にて参加費 1,000 円を納付願います。
  4. 本大会への参加証明書の発行を申し込まれた方は、受付にてお受け取りください。
- ※ 当日参加も可能とする予定ですが、昼食等の準備の都合上、できるだけ事前のお申し込みをお願い致します。当日参加の方には昼食をご用意できない可能性がございます。あらかじめご了承ください。

### Ⅴ 健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録更新講習について

1. 本大会は、健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として講義 3.0 単位が認められます。（認定番号 236333）
2. 単位認定のため受講証明書の発行を希望する方は、大会当日にご自身の登録証を受付にてご提示ください。単位認定の条件は、全日程（特別講演・シンポジウム・一般研究発表）の参加とします。